

令和5年度 全国学力・学習状況調査結果の報告

令和5年4月18日に6年生を対象に実施した全国学力・学習状況調査の結果がまとまりました。この調査結果を今後の指針として、児童一人ひとりの力を付けることに、引き続き取り組んでまいります。

◇よい状況と考えられる内容

◆指導改善が必要と考えられる内容

1 教科学習状況調査結果より

国語は全国・神奈川県平均と同等の正答率であった。

算数は全国・神奈川県平均よりも0.2ポイント下回っている。

- <国語> ◇敬語の使い方など、日常よく使われる言葉をよく理解している。
◇図表やグラフなどを用いて、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫する力が高い。
◆文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめる力が弱い。
- <算数> ◇比例や反比例などの伴って変わる二つの数量関係を読み取る力が身に付いている。
◆正多角形などの意味や性質について正しく理解できている児童が少ない。
◆グラフから対象を明確にして必要な情報を読み取ることが苦手な児童が多い。

2 生活・学習習慣調査結果より

- <生活> ◇自分のことを認められていると感じている児童が全国・神奈川県平均よりも多い。
◇普段の生活の中で9割強の児童が幸せを感じることができている。
◇将来の夢や目標を持って生活していると感じている割合が全国・神奈川県平均よりも5ポイントほど高い。
- <国語> ◆立場や考えの違いを意識して話し合うことや、他の意見を生かして自分の考えにまとめることに苦手意識をもっている児童が多い。
- <算数> ◆算数の学習が大切であると考え、将来、社会に出たときに役立つと考えている児童の割合が全国平均よりも下回っている。

3 今後の取組 指導・改善が必要と考えられる点の中から、特に、次の点に力を入れて指導します。

- <国語> ・文章全体の構成や表現に着目することに重点を置いて、読む・書く活動を充実させていきます。
・自分の思いや考えを整理して、表現する活動を充実させていきます。
- <算数> ・基礎・基本を定着させるために、既習事項を使って論理的に思考できる授業展開を図ります。
・社会との関連を意識しながら、全児童に親しみやすい授業を目指します。